

備前市事務事業評価シート

(平成21年度事業)

事業の概要			
事業開始年度		平成17年度～	
総合計画	大項目	基本目標	01 安全で快適に暮らせるまちづくり
	中項目	基本施策	01 生活しやすいまちづくり
	小項目	施策	13 漁港・港湾
事務事業名		04	漁港整備事業
根拠法令・例規等			
担当課(室)		都市整備課	
職・氏名		管理係長・岸本豊弘	
電話		0869-64-1833	
このシート作成に要した時間		7.0 時間	

事業の目的	
対象(誰・何に対して)	漁業従事者、漁港利用者
目的(何のために)	漁業経営の安定を図る。
事業の意図する成果(どのような状態にしたいのか)	要望により国、県が行う事業に対して条例により負担金を支払う。

事業の実績			
目的を達成するため実施した事業	細事業名	事業の説明	優先度
	漁港整備県工事負担金(補助)	県が実施する国庫補助事業	
	漁港整備県工事負担金(単独)	県が実施する国庫補助事業	

事業費等		単位	平成19年度実績	平成20年度実績	平成21年度実績
決算額	直接事業費		9,978	24,215	17,253
	必要人員(人件費)	千円	0.05人	374	0.00人
財源	事業費		10,352	24,215	17,346
	国県支出金				
	受益者負担				
	繰入金	千円			
	その他()				
	一般財源		10,352	24,215	17,346
	受益者負担比率	%			
結果指標名		単位	平成19年度実績	平成20年度実績	平成21年度実績
結果指標	県工事実施箇所数	説明	県が実施する国庫補助事業		
	結果指標量	事業	3	3	2
	対前年比	%	-	100.0%	66.7%
	活動コスト	円	6,716,000	11,835,000	12,492,000
	単位当たりコスト		2,238,667	3,945,000	6,246,000

事業の成果					
成果指標名	年度	平成19年度	平成20年度	平成21年度	平成22年度目標値
要案件数の実施率	目標値(A)	3	3	3	3
	実績値(B)	5	5	5	到達目標値
	達成率(B/A)	166.67%	166.67%	166.67%	166.67%
成果指標設定の考え方・式や説明					
実施件数(B)/目標件数(A)					

事務事業の評価		評価	
妥当性の評価	市の関与の妥当性の必要性	<input checked="" type="checkbox"/> 市が実施するよう法令で義務づけられている <input type="checkbox"/> 法令で義務づけられていないが、実施しなければ大半の市民の日常生活に支障をきたす <input type="checkbox"/> 現在市が実施しているが、実施しなくても市民の日常生活に支障をきたさない <input type="checkbox"/> 事業の内容が一部の受益者に偏っている <input type="checkbox"/> 対象者は限定的であるが社会的弱者等を対象としている <input type="checkbox"/> 現在の市を取り巻く環境からも目的・意図する成果は妥当である <input type="checkbox"/> 事業開始当初の目的から変化してきている <input type="checkbox"/> 事業開始当初の目的は、ほぼ達成されている <input type="checkbox"/> 厳しい財政状況であるが、実施する必要がある <input checked="" type="checkbox"/> 市民・団体等から要望・要請が強い	妥当性評価 <A-E> C
	市民ニーズ	<input type="checkbox"/> 単位当たりコストは前年度と比較して改善している <input type="checkbox"/> 実施方法(派遣・委託含)を見直すことでコストを下げる余地がある <input type="checkbox"/> 事務の電子化や事務改善によりコストを下げる余地がある <input checked="" type="checkbox"/> コスト削減の努力はしているが、下がる余地は小さい <input type="checkbox"/> 受益者負担率は適正である <input type="checkbox"/> 受益者負担率を見直す余地がある <input type="checkbox"/> サービスを維持するためこれ以外、他に手段が見当たらない <input type="checkbox"/> 現在の手段は過剰なサービスのため、改善の余地がある <input type="checkbox"/> 最適な手段を求めて職場内で改善・研修に努めている	効率性評価 <A-E> C
有効性の評価	目的達成度 市民参画度	<input type="checkbox"/> 成果指標の設定は適切である <input type="checkbox"/> 成果指標の到達目標値は達成できそうである <input type="checkbox"/> 成果指標達成率は前年度と比較して向上している <input type="checkbox"/> 成果指標達成率は80%未満となっている <input type="checkbox"/> 現在の事業を継続しても成果指標の向上は期待できない <input type="checkbox"/> 法定事務・内部管理事務 であり成果は求めにくい <input type="checkbox"/> 事業について積極的にHPや広報等で情報提供している <input type="checkbox"/> 事業にはNPO、ボランティア団体等が参画している	有効性評価 <A-E> C

進行年度(H22年度)の改革改善内容						
状況	拡充	現状継続	見直し	縮小	整理統合	休止・完了
説明	要望のすべてが実施できないが本事業について引き続きおこなう。					

総合評価	
漁業の盛んな地域であり島民の多くが水産加工業に携わるなど市の産業経済に与える影響は大きく一定の成果が得られている。	評価区分 <A-E> C

平成23年度の方向性及び取組目標						
方向性	拡充	現状継続	見直し	縮小	整理統合	休止・完了
取組目標	施設の整備については一度のできないので、次年度も同様に行っていく必要がある。					

事業の目的、対象、内容を考えてながら妥当性の評価を行って下さい

事業費や単位当たりコストに留意しながら効率性の評価を行って下さい

留意事項
 留意事項の目的やその数値目標を達成するための結果指標

